

—少子化が進む中、未来の社会を担う子どもの教育には期待がさらに集まっています。私学ならではの取り組みを教えてください。

本校は物事の本質や時代の流れを読み、不易流行を見極める力を育てる「先見教育・先行教育」を大切にしています。こうした考え方を、6年間の中高一貫教育によって継続性を持って身につけてもらえるのが強みです。

—中央教育審議会は大学入試センター試験廃止などを答申しました。

2015年度の中学生から対象となる入試制度の大改革にどう臨みますか。

知識を暗記するなど教育の基本的な構造は19世紀末から変わっています。

せん。ただし、今後はこれまで存在しなかった職業に就く子どもの割合が増えると言われています。職業が変化を遂げる中、教育も時代に応じ

未来に貢献する教育推進

ります。幅広い視野で科学的に探究する経験を積みながら、主体性が育まれてきています。

—昨年、学校創立90周年を迎えた。次の100周年に向けて、どんなビジョンで運営にあたりますか。

生徒と教員それぞれが、答えのない課題に取り組むアクティブラーニングなどに積極的に挑戦し、単なる「詰め込み型」の学習法から「双方型」の学習環境を整えます。未来の社会に貢献する教育を、全学を上げて進めます。



校舎外観

法人概要

- ◇所 在 地 〒690-0017 松江市西津田9丁目11番1号
- ◇設 立 1924年4月1日
- ◇設 置 校 開星中学校
開星高等学校（設置学科：普通科）
- ◇基 本 金 4,001,266,615円（2014年3月31日現在）
- ◇教 育 職 員 数 68人（非常勤含む 2014年5月1日現在）
- ◇事 務 職 員 数 8人（2014年5月1日現在）
- ◇生 徒 数 633人（2014年5月1日現在）
- ◇ホームページ <http://www.kaisei.matsue.shimane.jp>

た変化が必要になるでしょう。21世紀を生きる子どもに必要な力について、本校は「つくる力（創造力）」「つながる力（共生力）」「もちこたえる力（忍耐力）」の三つを定義

しました。洞察力や決断力、環境に適応できる力などを総合的に育みながら、主体的な進路選択と学習意欲の向上を図り、新しい入試制度にも対応できる教育を推進します。

—文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けおられますね。

採択から3年目になりますが、教



理事長・校長

おおたわ あきひろ
大多和 聰宏氏